

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	高松国分寺ホール		
指定管理者	日本管財・JTBコミュニケーションズ共同事業体	施設所管課等	文化芸術振興課
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市国分寺町新名430番地	業務の概要	・ホールの使用許可及びその変更の許可、使用許可の取消し並びに使用の停止に関する業務 ・入館の拒否及び退館の命令に関する業務 ・ホール及び設備の維持管理に関する業務 ・ホール利用の促進に関する業務 ・ホールを利用した文化芸術の振興に関する業務 ・その他ホールの設置目的を達成するための事業実施に関する業務
施設の概要	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上2階建 【使用時間】 9～22時 休館日：月曜日、年末年始		

	項目名	平成29年度	平成28年度	項目名	平成29年度	平成28年度
利用状況等	利用者数	35,871 人	36,965 人	ホール稼働率(日別)	63.6	62.6
	自主事業開催数	53	44			
	自主事業参加者数	7,430	10,510			
収支状況等	収入総額	46,027 千円	46,812 千円	支出総額	44,709 千円	45,028 千円
	指定管理料収入	37,911 千円	39,133 千円	精算額(市へ戻入分)	0 千円	0 千円
	施設利用料収入	8,116 千円	7,679 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	施設の維持管理には修繕の緊急性、優先性を考慮し管理運営に努め、利用者の安全確保や危機管理体制等を周知し、消防訓練等も実施し安全管理に臨んだ。 個人情報保護・法令遵守に関する教育、環境配慮を含むコンプライアンス遵守に関する試験を実施し、職員への周知を徹底した。また毎月自治監査を行い、本社担当者と相互チェックを行った。	S
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	事業計画に基づいた運営を実施し、利用者の公平性、平等性確保に重点を置き、利用者の満足度も向上した。 条例等を遵守し、運営マニュアルに基づき、施設利用に対して同じ判断基準のもと平等に利用いただける環境を整備、運用した。	A
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	昨年に引き続き、レジャーや企業利用により、稼働率、利用料収入とも前年度実績を上回る結果となった。 (前年度より稼働率1.0%向上、利用料収入 前年度比105.6%)ホームページ、SNS(Twitter、Facebook)での情報発信だけでなく、市内各所へチラシ等の配布を行うことにより、インターネットを利用しない方への情報発信にも力を入れ認知度を高めた。次年度においてはホームページのリニューアル、新たなSNS(Instagram)を開発し若年層の取込を図りたい。自主事業では、過去4年においてホール知名度向上に貢献できたと自負しており、今年度は地域密着型の公演・イベントを多く開催し、年間53回、7,430名の方に参加いただき、地域における文化芸術の振興に努めた。ホールにお越しいただいたお客様に対し、積極的に他事業の案内を行った。また国分寺町文化協会など、高松市国分寺町周辺の文化団体と協議し、国分寺町文化祭の協同など高松国分寺ホールと地域との連携を推進した。出演者・講師についても引き続き地元関係者へ積極的に依頼、発表・活動の機会を創出し、地域活性化に貢献した。利用者アンケートを実施し、結果を踏まえてサービス向上及び利用促進の取組み方策を検討した。相談・苦情には責任者を中心に真摯かつ誠実に対応した。	S
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	職員の勤務シフトを適切に設定し効率的な人員配置を実現した。施設の繁忙日・時間等を考慮し、翌月の勤務シフトを早期に作成し、適切な休日の確保に努めた。 個人情報保護・各種法令遵守にかかる教育や接遇研修の実施、公文協情報交換会への参加、他施設との事例共有等の意見交換会を行うなど、施設活性化に向けた人材育成に取り組んだ。 運営経費の執行については、本社経理部門との相互チェックにより、基本協定書・事業計画書に基づく適切な予算管理を行った。 適切な保険に加入し、利用者・来館者とのトラブルも発生しなかった。	A
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	利用者の視点に立った設備利用料金を設定するなど、利用料金収入確保に向けたサービス向上の取組みを行った。 運営企業本社が経理・労務管理等運営業務全般をサポートすることにより、ホールにおける作業時間を最適化した。 またレジスターを導入する事により、業務効率化、チケット販売枚数の可視化を図った。	A
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
高松国分寺ホール指定管理者として、施設の維持管理・運営業務については、運営マニュアルに基づき、適切に実施できている。ホールのPRIに関しては、HP・SNSの活用や、インターネットを活用しない層を念頭に置いたチラシ配布等、幅広い世代に向けた利用促進対策が行われており評価できる。また、館内に、高松国分寺ホールをはじめ、サンポートホール高松等県内文化施設のチラシ・ポスターを集めてPRするコーナーを設けており、来館を契機として、様々な文化事業に興味を持っていたり、自主事業のアンケート結果において、公演を知ったきっかけに「国分寺ホールのポスター・チラシ」をあげる方が多く、効果的なPRIにつながっており、他の文化施設のPRIにも一役買っている。 指定管理料収入については、平成29年度減少しているが、施設利用料収入の増加や支出額の削減等の自助努力により、良好な経営状態を維持している。また、自主事業については、個人や文化団体の活動に寄り添った小規模な事業が増加したため、自主事業参加者数は減少しているものの、多種多様で魅力的な事業展開を行っており、利用者の満足度も高い。地域との連携については、開館当初より地元の文化団体、コミュニティセンター等と協力した事業展開を行っている。 これまで同様、地域と密接に連携するとともに、本市西部地域における市民の文化活動の創造・発表、交流の拠点として、ホールのさらなる価値の向上に努めてもらいたい。	A